

ジャパン・ソサエティ東日本大震災復興基金（ローズファンド） 第二期 選考基準と審査プロセス

■選考基準

主に下記の視点で審査を行いました。

- 【団体と事業の目的】 団体の理念と申請事業の目的との関係性は明確か。
- 【地域貢献性・公益性】 団体の活動や申請事業が十分な地域貢献性・公益性を有したものであるか。
- 【必要性】 地域のニーズと照らし合わせて十分な必要性を持っているか。
- 【実現可能性】 事業を実現するために、人的・物的資源や実施計画が整っているか。
- 【持続発展性】 組織運営と申請事業について、助成期間にとどまらない中長期的な計画があるか。

■審査プロセス

岩手県・宮城県・福島県の NPO 関係者や有識者等 6 名からなる審査委員会を設置し、英国 ジャパン・ソサエティの承認を経て、助成事業と助成額を決定しました。

第一次 審査

- ・申請総数33件のなかに「主たる事務所が岩手県・宮城県・福島県のいずれかに所在する団体」の基準を満たさない申請が1件あり、その1件を除いた32件を審査対象としました。
- ・32件の申請について、担当プログラムオフィサーによる第一次審査（書類審査）を実施し、訪問調査の対象となる団体14団体を選出しました。

訪問調査

- ・担当プログラムオフィサーが、第一次審査（書類審査）で選出された14団体の事務所を訪問し、申請事業についての訪問調査を実施しました。

国内 審査会

- ・審査員に、訪問調査を実施した14団体の申請書と訪問調査レポートを送付し、審査員それぞれが事前に評価を行い、その結果を持ち寄って審査会を開催しました。
- ・審査会では、担当プログラムオフィサーから1事業毎に訪問調査の結果を報告し、審査基準に則って、助成事業の内容と助成金額について審査が行われました。
- ・その結果、プログラムA：10事業、プログラムB：1事業の計11事業が採択事業候補として決定されました。

推薦

- ・審査会での審議内容と採択事業候補11事業について英国ジャパン・ソサエティに推薦しました。

決定

- ・英国ジャパン・ソサエティにて審査を行い、国内審査会の決定した採択候補11事業の承認を得て、第一期の助成事業が確定しました。